

広報 やまこし

1990
10月
第268号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■10月1日発行

お知らせ

合同行政相談所の開設

毎年行っている行政相談を次のとおり行います。今年は心配ごと相談委員と長岡社会保険事務所国民年金担当者も相談に加わり「合同行政相談」として行います。行政に対する苦情や、心配ごと、国民年金に関する相談などがありましたらお気軽においでください。

期日・場所
十月十九日(金)
午前十時～十二時
午後一時～三時
種芋原農産物処理加工場
午後一時～三時
山古志村役場村民相談室

銀婚式講座開設

銀婚式講座が教育委員会・公民館の主催で開かれます。結婚して今年度二十五周年のカップル(村内在住者)を対象にして、十月から十一月にかけて、講

ご協力ください

道路交通情勢調査を実施します
県では、全国一斉に自動車の利用状況を調べる道路交通情勢調査を行います。

この調査は、日ごろの生活の中で自動車などのように使われているかを調べ、将来の道路の計画や建設などについての基礎資料とするものです。

調査員がお宅に伺いましたら調査にご協力ください。

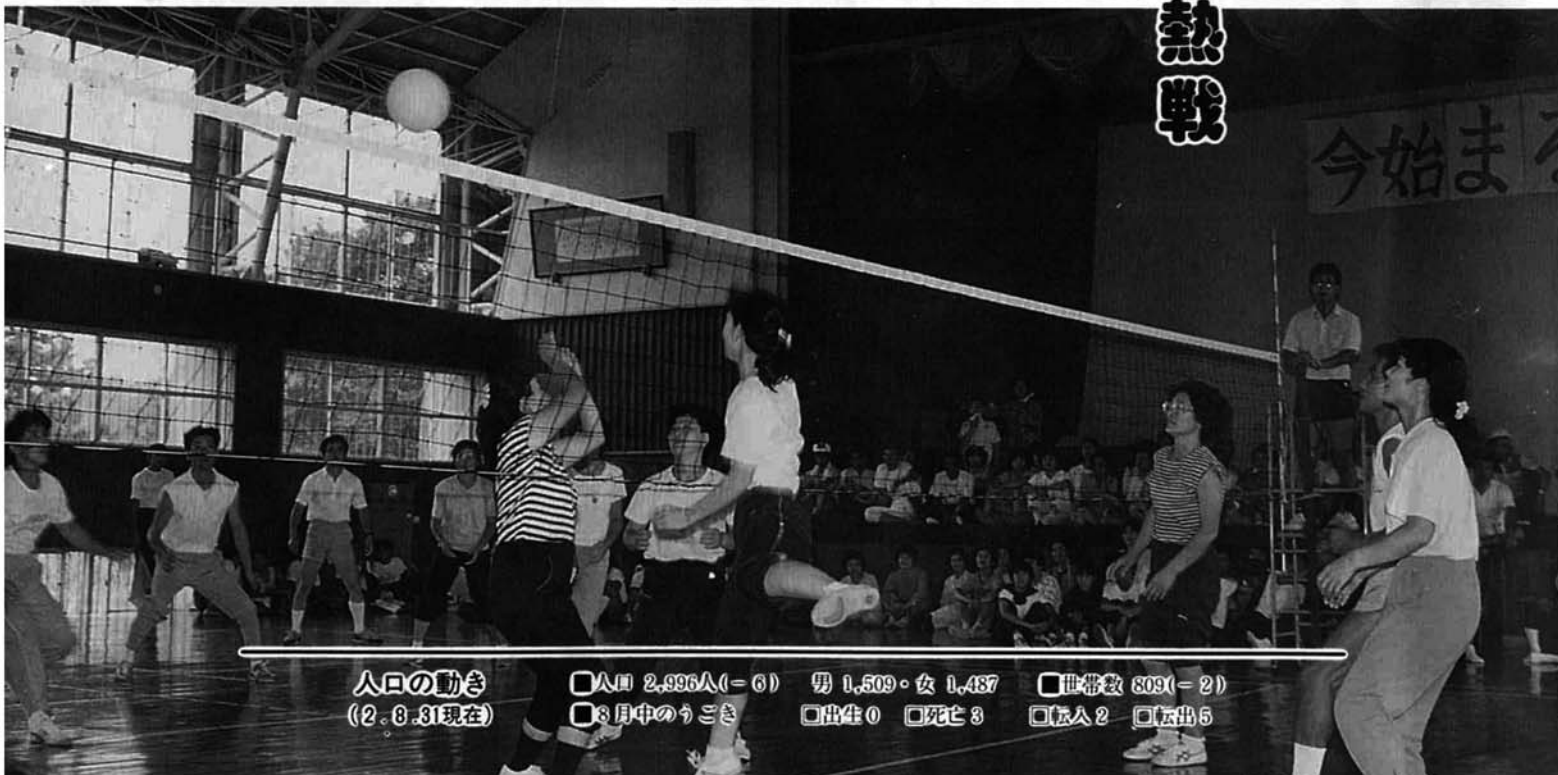
◎調査時期 十月の中旬～下旬
◎調査車両 登録車両の中から無作為に選ばれた5%の車両
◎調査方法 調査対象に選ばれた車両の使用へ調査員が訪問し調査票の記入方法を説明します。

◎問い合わせ先
長岡土木事務所 維持管理課
☎三八二二六二一

第一回山古志村卓球選手権大会



11競技に720人熱戦



人口の動き (2.8.31現在) □人口 2,996人(-6) 男 1,509・女 1,487 □世帯数 809(-2) □8月中のうごき □出生0 □死亡3 □転入2 □転出5

秋の火災予防運動

10月26日～11月1日

まずなくそう 火への鈍感 無関心

秋の全国火災予防運動が実施されます。この運動は、例年火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図りながら火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として行われるものです。

新潟県では「秋季火災予防運動」を十月二十六日から十一月一日にかけて行います。くれぐれも、「火の用心」をお願いします。

- ◎火の用心七つのポイント
- ①寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
 - ②子供は、マッチやライターで遊ばせない。
 - ③風の強いときは、たき火をしな
 - ④天ぶらを揚げるときは、その場をはなれない。
 - ⑤家のまわりに燃えやすいものを置かない。
 - ⑥ふろの空だきをしない。
 - ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

国民健康保険 一日人間ドック 実施

村の国民健康保険では、加入者を対象に一日人間ドックを行って

います。対象年齢は四十歳以上六十五歳未満の方です。本人の負担額は八千円(消費税別)で当日支払うこととなります。

今までに人間ドック、総合検診を受けてない方は、ぜひ検診を受けるようお勧めします。

なお、国保加入者以外の方、対象年齢以外で検診を希望する方は、実費二万八千円(消費税別)の負担により受診できます。

検診は十月下旬を予定しています。詳しくは希望者に直接通知します。

申し込みは、十月十二日までに住民課・保健衛生係へご連絡ください(電話でも可)。

眼科検診を行います

アイバンク(新潟眼科銀行)と県環境保健部の主催で目の検診を行います。当日は、新潟大学医学部から先生に来ていただき、目に関する相談に応じますので、お気軽においで下さい。

期日 十月十九日(金)
時間 午前9時30分～12時 午後1時～5時
会場 村民会館
費用 無料
申し込みは、十月九日までに、住民課・保健衛生係へご連絡ください(電話でも可)。

がんはまず 検診で 早期発見を

動き盛りに多いがん。年に一度は必ず定期検診を受けましょう。胃カメラ検診の追加申し込み方は、住民課・保健衛生係にご連絡ください。(電話でも可)。

検診日 十月二十三日(火) 十一月七日(水)
費用 二千円と二千五百円

村議会

9月定例会

過疎計画 元年度決算 など

9議案を可決・承認

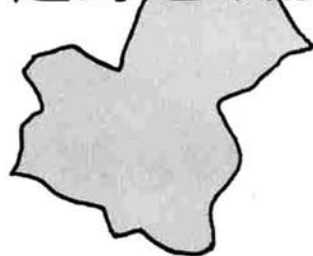
九月十四日に開会され、二十日に閉会した九月定例会。会議日数四日間で、九つの議案と二つの報告が可決・承認されました。主な内容は、次のとおりです。

- ▼山古志村過疎地域活性化計画の平成二年から六年に実施される事業等が可決されました。
- ▼平成二年度の一般会計と国民健康保険特別会計の補正予算がそれぞれ、二億六千四百四十万円と、二百九十八万一千円追加することが可決されました。
- ▼平成元年度の山古志村五会計（一般会計、国民健康保険・診療所・歯科診療所・老人保健の各特別会計）の歳入歳出決算が認定されました。（詳しくは別ページの「平成元年度決算」で）
- ▼古志高原リゾート株式会社の経営状況の報告では、オープン以来延二万二千人の利用者と、二百五十万円の売上があった旨報告されました。

平成2～6年度

計画の主な内容

過疎地域活性化計画



昭和四十五年過疎地域緊急措置法が制定されたのに伴い、過疎地域に指定され、その後五十五年には過疎地域振興特別措置法の地域にも指定されました。

この間、二十年にわたって数々の財政援助をうけながら、過疎からの脱却を目指して諸施策を実施してきました。しかし、全国的ペースで一極集中が進行し依然として人口の減少が進んでいます。

本年三月末の期限切れ前からこれに代るべき新しい法律の制定が強く望まれていました。四月一日に新しく過疎地域活性化特別措置法が制定され山古志村も地域指定をうけました。

この法律の施行に伴い活性化計画（前期五カ年）の策定作業を進め、果との協議も終り九月の定例会で議決されたものです。

五カ年計画（平成二年度～六年度）は、魅力ある就業の場や収入の安定確保による若者定住促進と産業振興、高齢者の生産活動への積極的な参加、医療・福祉の充実、都市的な居住環境の整備を進めるなど高齢化への対応とるおおいのある地域づくり、産業の振興、日常生活が円滑に営まれるための交通通信体系の整備、特に冬期間の交通確保、教育文化の振興など二十一世紀へ向けた村づくりの活性化計画です。構想段階のものも多

くありますが、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



国道291号線道路改良

産業の振興

地場産業の育成、 観光施設の整備



等高線型圃場整備 (種苧原)

村の産業の主体は、農林水産業ですが水稲、錦鯉、畜産などの振興を図るため、等高線型圃場整備、錦鯉の蓄養施設や共同採卵ふ化施設、草地改良、開牛ア・パートなど基盤整備や経営近代化施設を整備するとともに、錦鯉越冬施設などの補助事業を行います。

地場産業を育成するための生産物直売所や高齢者生産活動（民芸関係）施設、野菜等雪中貯蔵施設などを建設し、伝統文化の継承や特産品の開発などに努めます。また、観光・レクリエーションについては、平成元年にオープンした古志高原スキー場にナイター照明や駐車場を整備します。

最近余暇の増大や都市における居住条件の悪化傾向などにより、緑地志向が高まっています。農村運動広場周辺を総合的に観光開発す



ふれあい広場、交流会館等観光施設整備

るため、多目的広場を造成し、ふれあい農園、ふれあい広場の諸施設を整備します。交流会館（宿泊施設）を建設することにより、世代間交流や都市住民との交流を促進します。

交通体系の整備

主要道路の整備と 冬期間の交通確保



村道改良 (大久保)

長岡市や小千谷市から近距離にある山古志村ですが、日常生活や産業の振興などすべての面で道路整備が絶対的な条件です。村の命脈ともいえる国・県道の整備促進を積極的に要望し、とくに冬期間の交通確保に努めます。幹線村道を優先的に整備するとともに

生活に密着した集落内道路も改良舗装を進め、冬期間の交通を容易にします。

- ▼村道改良 六、九二九m
- ▼村道舗装 五、九六九m
- ▼橋りょう (一橋) 一〇m
- ▼除雪車 (更新) 三百
- ▼雪上車 (更新) 三百

このほか、産業振興を図るため農道、林道の改良舗装を実施します。

生活環境の整備

簡易水道に着手 高齢化に対応

生活環境の整備



小規模生活ダム (池谷地内)

生活様式の都市化などにより水の需要は増加しています。山間地でありながら水資源に乏しく、慢性的な水不足により日常生活に支障を及ぼしています。水資源確保のため、芋川筋に河川利用による小規模生活ダムの建設が決定されました。このダムの水を利用して全村に簡易水道を整備します。特に緊急を要する地域から計画的に実施します。

昭和六十三年小千谷地域広域事務組合に加入したことにより、消防・救急医療・ごみ及び尿処理など大幅に改善されました。不燃ごみについては、村内の埋立地で処理していますが排水処理施設や搬入道路を改良して利便を図ります。

また、消防施設は、防火貯水槽十基、ポンプ付積載車五台、簡易水道に合わせて消火栓を設置するなど施設の充実に努めます。

地域のコミュニティの場としての集落開発センター建設の補助事業も行います。

福祉・医療関係では、高齢化社会に対応するために高齢者福祉センターを建設し、デイサービスや居住環境の整備を図ります。健康を守るために、村民会館や診療所など既存の施設を活用して、各種の検診や健康相談など指導体制を整えるとともに、眼科などの巡回診療の実現に努めます。

教育文化の振興その他

総合体育館の建設 ふるさと創生

ふるさと創生



小中学校の児童生徒数の減少は依然として続き、昭和六十一年以降村内のすべての小学校で複式となっています。中学校では一学年一学級の小規模が問題となっています。

小学校は小規模校、複式学級の特性を生かした教育活動ができるよう、諸条件の整備改善に努め、中学校については、早急に統合を図り諸施設の整備を実施して教育効果の向上に努めます。

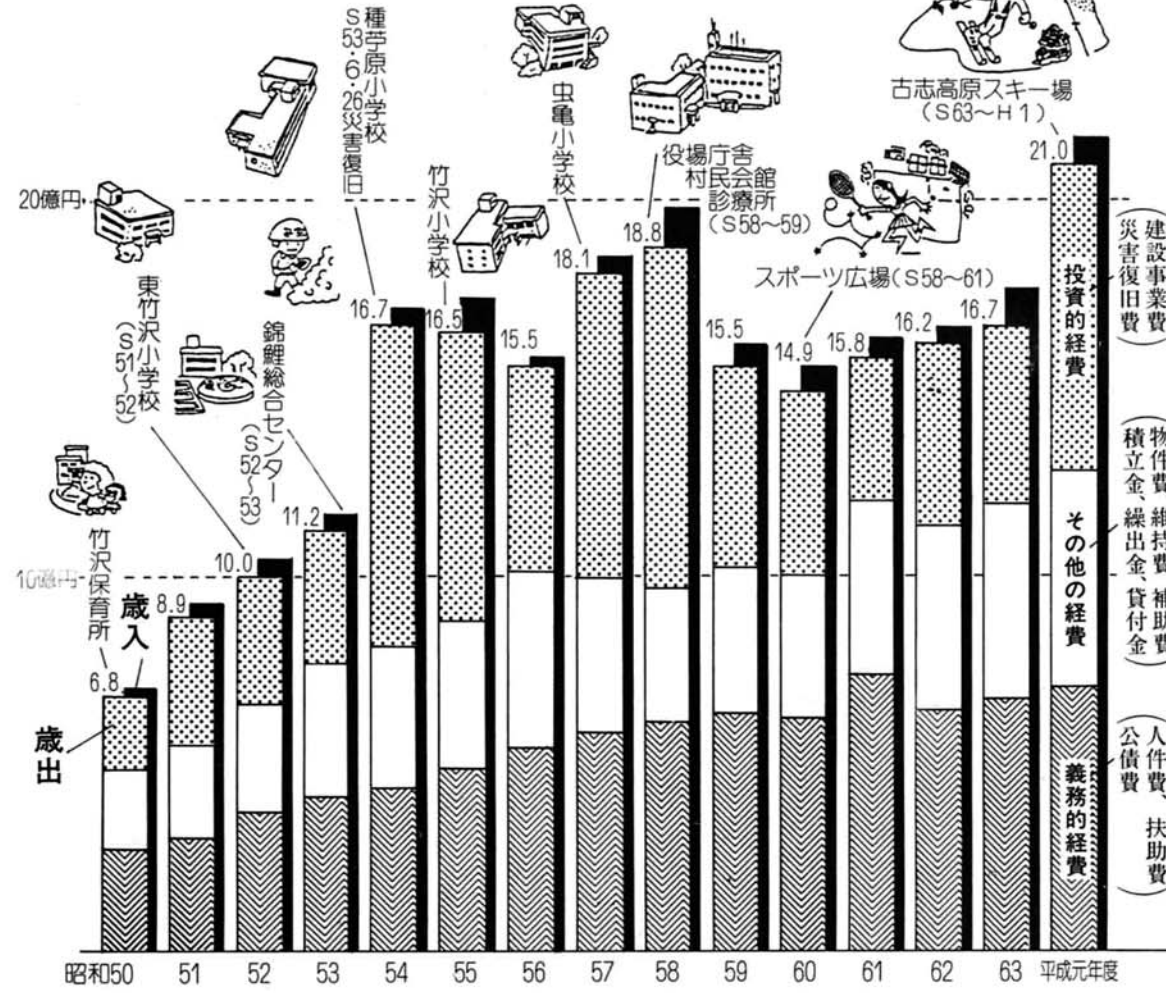
村民の体育、文化並びに生涯学習活動、村民相互の交流や都市住民との交流などを促進するため、村民総合体育館を建設し有効な活用を図ります。

学習機会の拡充を図るとともに、コミュニティ活動を推進するための指導者養成に努め、活動の拠点となる施設整備を行います。自ら考え自ら行う「ふるさと創生」事業を最大限に活用し、地域づくり、人づくりを推進します。

山古志村総合
錦鯉品評会
10月25日(木)
山古志村役場前

一般会計決算額の推移（S50～H1）

（グラフの数字は歳出総額：億円）



村政初めての20億円台
 村民1人68万5千円

村政史上初めて20億円台となった一般会計ですが、村民一人当たりにすると歳出六八万五千円に。元年度事業のトップは、昨年十二月十日にオープンした古志高原スキー場の建設。六十三年度の造成工事を含め二億七千三百万円かかりました。また、種芋原教員住宅を新築しました。例年重点を置いている村道整備は、改良五線、舗装八線など。



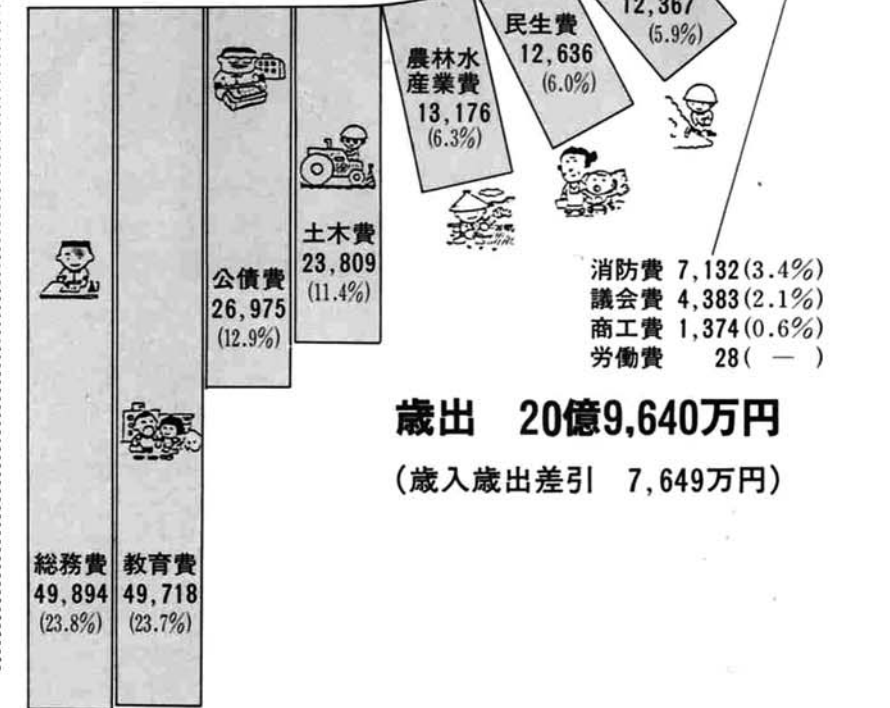
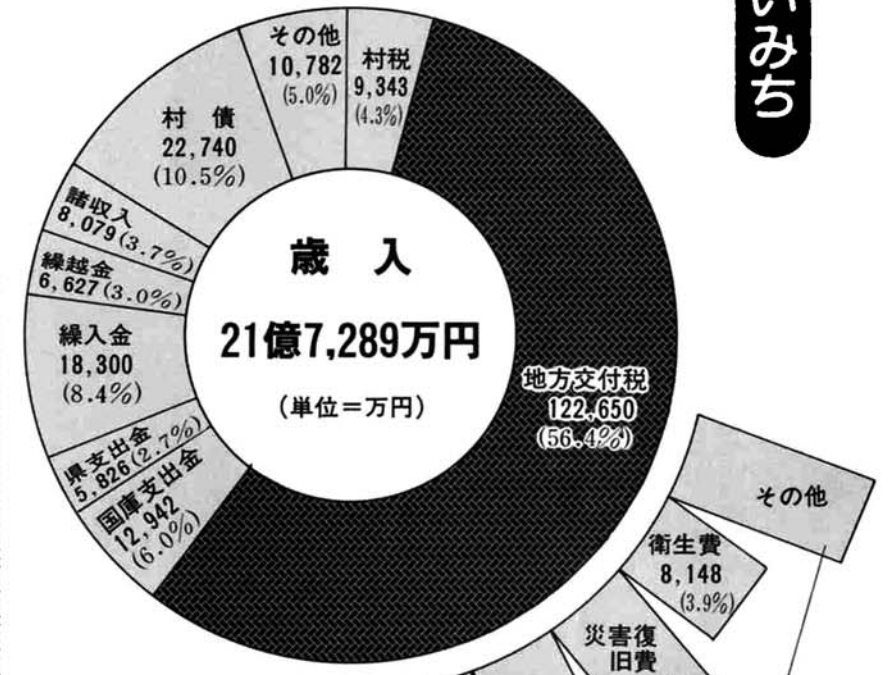
▲昨年12月10日にオープンした古志高原スキー場

元年度に行った主な事業

- （設計費、用地費、補償費等を含む）
- 古志高原スキー場建設 1億9,633万円
〔スキーハウス1棟、ベアリフト540m、駐車場、グレンデ圧雪車、その他関連工事、備品等〕
 - 種芋原教員住宅建設 1億3,462万円
 - 村道改良 5線 8,451万円
〔裏ノ山線158m、虫亀間内平1号線142m、虫亀濁沢1号線60m、竹沢塩谷線158m、梶金桂谷線220m〕
 - 村道舗装 8線 3,489万円
〔裏ノ山線345m、種芋原半蔵金線140m、虫亀間内平線148m、虫亀間内平1号線142m、虫亀濁沢1号線60m、大石池谷線139m、竹沢塩谷線158m、梶金桂谷線228m〕
 - オキ坂橋床版打替 16m 890万円
 - 村道修繕工事 20か所 1,383万円
 - 林道整備 1,621万円
〔城山線開設107m、風口線舗装360m、他〕
 - 農道萱峠線改良 403m 1,300万円
 - 除雪経費 3,251万円
 - 錦鯉越冬施設建設補助(虫亀) 500万円
 - 関牛素牛導入奨励金 20頭 300万円
 - 国土調査費 1,652万円
 - 胃カメラ購入 2台 520万円
 - 不燃ごみ埋立場用地、道路等 541万円
 - 簡易水道計画書作成 489万円
 - 社会福祉協議会へ委託料 457万円
 - 小千谷地域広域事務組合負担金(消防・衛生) 5,922万円
 - 消防ポンプ積載車及び車庫(種芋原) 587万円
 - 防火水槽(虫亀、池谷) 611万円
 - バス運行補助金 648万円
 - 役場庁舎冷房工事 1,031万円
 - 第2回古志の火まつり経費 666万円
 - 種芋原診療所改築(診療所会計) 809万円

元年度決算

平成元年度の村財政の決算がまとまり、九月議会にて認定されました。当初一億七〇〇〇万円の予算でスタートした一般会計は、歳出総額二億九千六百万円、歳入歳出差引七、六四九万円の黒字となりました。歳出が前年度より四億二、五八五万円、二五・五％の増です。村政史上初めて二〇億円を超す大型決算となりましたが、どんな事業を行ったか、主なものを紹介しましょう。



歳入 21億7,289万円
 歳出 20億9,640万円
 (歳入歳出差引 7,649万円)

元年度特別会計決算

| 会計 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 国民健康保険会計 | 2億3,699万円 | 2億0,756万円 | 2,943万円 |
| 老人保健会計 | 1億9,216万円 | 1億9,109万円 | 107万円 |
| 診療所(内科)会計 | 1億0,860万円 | 9,774万円 | 1,086万円 |
| 歯科診療所会計 | 2,472万円 | 2,472万円 | — |

積立金の現在高(2.3.31現在)

| 区分 | 金額 |
|--------|------------|
| 財政調整基金 | 4億8,025万円 |
| 教育施設基金 | 1億9,460万円 |
| 減債基金 | 1億0,724万円 |
| 土地開発基金 | 5,128万円 |
| 国保会計基金 | 1億5,341万円 |
| その他基金 | 2,991万円 |
| 合計 | 10億1,669万円 |

村債の現在高(2.3.31現在)

| 区分 | 未償還元金 |
|--------|------------|
| 過疎対策事業 | 10億1,836万円 |
| 義務教育施設 | 2億6,264万円 |
| 辺地対策事業 | 1億2,561万円 |
| 災害復旧事業 | 1億0,286万円 |
| 一般単独事業 | 9,717万円 |
| その他 | 7,111万円 |
| 合計 | 16億7,775万円 |

特別会計では、国保会計で保険料を平均で約二％引き下げました。診療所では、患者の延べ人数(八日)が、内科一万四千人、歯科四千四百人、とくに診療所(内科)会計は昭和六十一年度から一般会計繰入金がなく、黒字が定着してきています。

目新しいところでは、角突き牛減少に対応した関牛素牛導入奨励金、検診を充実させるための胃カメラ購入、簡易水道建設に向けた基本計画書作成、法人化した社会福祉協議会への委託料アップ、役場庁舎の間、種芋原広域の越後交通観光バス運行が始まったことによる補助金のアップ。また、国土調査も本格的に行われるようになりました。目的別では、総務費が第一位となつていますが、財政調整基金などの積立金二億七、六二七万円(ふるさと創生資金八、〇〇〇万円を含む)によるものです。いっぽう歳入では、村税が二四万四減り、相変わらず乏しい自主財源です。国の好景気を反映して、地方交付税が一億五、四九一万円増えました。また、いろんな事業を行ったため、国庫支出金、村債、繰入金なども多くなっています。

敬老会

9月15日 一九〇人が参加



開式は十時三十分。「待ちる十五夜雨が降る……」とのたとえどおり今日は、あいにくの雨の中皆様ようこそおいで下さいました。心からお喜び申し上げます。いまや人生八十年の時代、益々のご活躍を……と、村長のあいさつで始まりました。

そして、九十五歳を迎えられた方二人、今年米寿の方十人、喜寿の方二十四人、さらに金婚を迎えられた四組のご夫婦の紹介があり、それぞれに記念品が贈られました。つづいて来賓の、三古社会福祉事務所長(代理)さんから、「皆様は明治・大正・昭和・平成の時代をあゆんでこられました。長い人生の途中には、経済恐慌・戦争・戦後の混乱期・高度成長期と、このような激動の中で、みなさんが高度成長を支え、国民の福祉と生活に大きく貢献されましたことに、心から敬意を表すものです。」と、また村議会議長さんからは、「明治から平成へと四代にわたり人生をあゆんでこられ、その間悲しい戦争というできごともございました。戦時中・戦後と食糧難の大変な時代もありました。皆様の尊い体験と功績に心から感謝と敬意を表します。」とそれぞれの祝いの言葉があり、またたくさんの祝電が披露されました。参加者を代表して老人クラブ連合会長の斎藤

実りの秋 収穫にいい汗



▲青木毅さん(油夫)

松治さんが謝辞を述べられ、式が終了しました。

その後、祝宴に入り、竹沢小学校の児童たちの樽ばやしや、山古志村民俗芸能保存協会による踊りなどのアトラクションを楽しんでおられました。

五月の田植え後、比較的良い天候に恵まれ、病害虫などによる大きな被害もなく順調に成育した稲、八月中旬からの晴天の影響でしようか昨年より一週間位早く稲刈りが始まりました。

昨年は、徹底的に雨に泣かされたコンバインがうまく使えなかったりしました。今年は九月の中旬に台風十九号の影響で、一部ハザが倒れたところもありましたが、大きな被害もなくほつとされたことでしょう。

台風一過の二十日から四日間は晴天に恵まれて稲刈り、稲あげにと農家にとっては、忙しい日々となったようです。今年の作柄はいかがでしょう。農家のみなさんからは「昨年よりやや少ない」という声も聞かれるようですが……。



▲小川伝二さん(小松倉)

本番前の 錦鯉品評会

山古志漁協青年部の事業として昨年に引き続き、「錦鯉の当蔵田上り品評会」が今年も九月二日(日)に役場前で行われました。

本格的な錦鯉のシーズンは、やはり十月上旬からでしょうか。この時期は各生産者とも当蔵鯉の仕上りぐあい特に気になるところです。出品された鯉は生産者が、春の親鯉の交配に始まり、産卵・ふ化、そして何回かの選別の中から特に選んだ自慢の鯉です。

このため各出品鯉はそれぞれ特長があり、優秀なのは当然とも言えます。出品数は昨年を上回る四〇〇点でした。今年も村外からのお客さんは、群馬、埼玉県の業者の方が見られました。

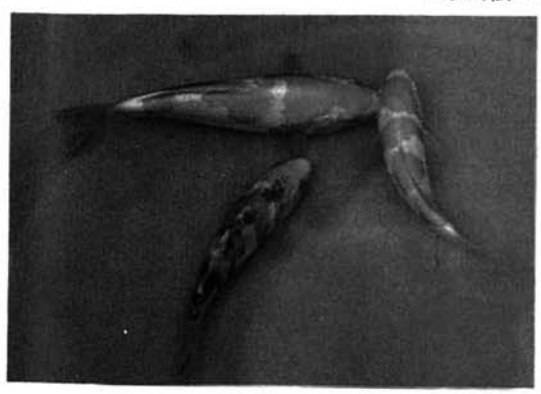
成績は次のとおりです。敬称略

▼総合優勝一席
星野 勇 (竹沢) 紅白

総合優勝二席
酒井俊彰 (虫亀) 三色

総合優勝三席
五十嵐徳治(虫亀) 紅白

▲総合優勝一席一三席



第22回

村レク大会 虫亀分館チーム 2年連続優勝

八月二十六日(日)に山古志中学校で、恒例の山古志村総合レクリエーション大会が開かれました。参加は各公民館分館単位の五チーム(種芋原、虫亀、竹沢、東竹沢、池谷)。各地区選りすぐりの選手たちと、多数の応援団が参加しました。十一競技に七二〇人が参加し熱戦が繰り広げられました。

次々と各種競技が進む中、成績により点が加算され、点数が発表されるたびに各チームとも熱が入って、やはり勝負は勝ちたいもの、実際に参加すれば自然に力が入ってしまいます。

当日は、途中雨のため一時中断もありましたが、比較的涼しい中で各競技が行なわれた結果、優勝は二年連続で虫亀分館チーム(三五六点)、二位は種芋原分館(三一九点)、三位は竹沢分館、四位は東竹沢分館、五位は池谷分館の順でした。

サテニススポーツの一日、選手も応援もご苦労様でした。各分館とも地区に帰って、恒例の反省・慰労会が開かれたようです。



▲ジャンケンゲームで優勝の横沢洋平くん



▲虫亀分館チーム



▲竹沢分館チーム

ひとり暮らし老人 楽しい昼食会



九月十三日、村民会館でひとり暮らし老人の昼食会が開かれ、対象者三十六人のうち二十二人が参加されました。

この昼食会は、ひとり暮らしの老人の方々から一堂に会して語り合いながら交流を深めていただき、孤立化を防止し、あわせて地域社会に積極的に参加してもらおうと、村社会福祉協議会の主催で行われたものです。

当日の献立は、五目ごはん・あさりのお汁・鮭の和風ステーキ・酢のものなどです。

梶金集落 開発センター 完成

長岡保健所池田栄養士の指導により、ボランティアのみなさんが作った、心のこもった手料理を食べていただきました。また、保健婦による健康指導もあり、熱心に聞かれる姿が印象的でした。

「皆さんのご好意に感謝しております。この会に参加できたことがうれしい」と青木キミさん。「大変ありがたいことです。喜んで参加させていただきます」と酒井チヨさん。

ひとり暮らしのみなさんには楽しいひとときでした。

梶金集落開発センターが完成し、九月五日に関係者四十人ほどが集まって竣工式を行いました。

木造二階建、延二二二㎡です。当日は、式前にお祝いの「モチまき」があり地区民のほか東竹沢小学校児童も参加して行われました。

区長の関幸作さんは、「区民長年の願望でありました集落開発センターが、今日立派に完成し、区民一同感激と喜びでいっぱいです。今後集落センターを区民はもちろんだ、地域のみなさんからも大いに利用していただき、地域の振興と活性化に役立てていきます。」と喜びを話していました。



福祉

編集・発行

社会福祉法人
山古志村社会福祉協議会
〒947-02
古志郡山古志村大字竹沢乙461
山古志村役場内
☎ (0258) 59-2332
印刷 大川印刷株式会社

赤い羽根共同募金 10月1日~12月31日

いま大切な民間社会福祉

目標額 1,333,000円 赤い羽根共同募金 733,000円
歳末たすけあい募金 600,000円



赤十字奉仕団員を募集しています

赤十字奉仕団とは
赤十字の人道・博愛の精神のもとに、ボランティア活動を通じて地域社会を住みよくしよう、という気持ちを持った人々の集まりが赤十字奉仕団です。
団員は、年齢や性別を問わず、奉仕しようとする気持ちと時間があれば誰でも団員とされます。
赤十字奉仕団の活動は
赤十字事業の推進にあたるほか地域の必要に応じた活動を行います。災害時における炊き出し、救護物資の配布、救護金の受け付けの活動。又いざという時に役に立つように、救急法・水上安全法・家庭看護法の講習会の開催等です。家庭看護法や救急法を習ってみたいと思う方、習った方。こんな方は、団員に加入して活動してみませんか。
○問い合わせ先
日本赤十字社新潟県支部山古志村分区(社会福祉協議会内)



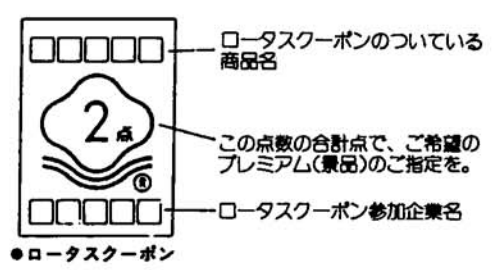
福祉のひろびろ

あなたが主役です

収集ボランティアにご協力をお願いします

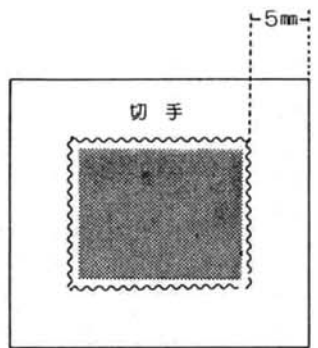
ロータスクーポンを集めて下さい。ロータスクーポンは、商品の箱や袋、キャップシールなどについています。
集まったロータスクーポンは、1,000点で800円の助成金が交付され、民間社会福祉の財源になります。
また、車いすやポータブル浴槽などの福祉用品と交換できます。ロータスクーポンのまわりを少し残して、切りとって下さい。

◎これがロータスクーポンです。



愛の古切手運動を

光を失った盲老人を收容する施設の拡充整備や、発展途上国の医療品や医療器具購入を目的とされるものです。
古切手は専門業者の手を経て、ロンドンの切手市場で換金され、200枚でBCG1本が購入できます。
使用済切手のまわり5ミリ位の紙をつけたまま切りとって下さい。



アルミ缶・アルミ栓の回収を

みなさんがよく飲む缶ビール、缶ジュース。そのアルミの缶と栓を集めると、車いすが購入できます。かなりの量が必要になります。

税制上の特典

赤い羽根共同募金は、今年で44回目を迎えました。10月1日~12月31日までの3か月間にわたり、全国での運動が展開されます。山古志村の総目標額は1,333千円です。各世帯にお願いする封筒募金、今年も一世帯900円以上を目安にご協力をお願い致します。その他各事業所をお願いしての法人募金、学校募金、パッチ募金等、今年も住民各位のあなたがいこ支援と、応分のご寄付をお願い申し上げます。

★共同募金の寄付は非課税です。共同募金会は、税法上、国や地方公共団体と同じように、寄付に関する「非課税措置の対象団体」になっています。
★年間を通じて寄付金を受け付けています。
非課税措置は、共同募金運動期間(10月1日~12月31日)はもとより、それ以外の期間も適用されます。
★法人の寄付は「全額損金算入」です。
★個人の寄付は「寄付金控除の対象」になっています。
★所得税に係る寄付金控除額
寄付金(所得の25%以内) 1万円
＜住民税に係る寄付金控除額＞

が体の不自由な方々の役に立てるこの運動の趣旨を理解して、みなさん、がんばってみませんか。ビールの缶は、ほとんどアルミですが、ジュースの缶でアルミのものは少ないようです。缶はつぶして集めて下さるようお願い致します。
※それぞれ随時受け付けます。あ取りまとめは、山古志村社会福祉協議会(役場内)がしております。

ボランティア(登録)募集!

広げよう小さな愛

社会のために、人のためにつくしたい、役立ちたい、この気持ちには、本来人間だれでもが持っている尊い心だといわれています。ボランティア活動は自分の意思にもとずく自主性を持った活動であり、どんな小さな活動でも、広く社会全体の福祉を高められるような公共性を持ったもので、自分の能力と時間を提供し、報酬を求めない無償性なのです。



あとかぎ

広報「やまこし」に、社協の福祉紙がはさまれることになりました。「社協だより」として、別に発行できればよいのですが、なかなか難しいものがあり、当分はこのようにして、読んでいただきたいと思います。
まだ法人化としてスタートしてから1年半。力不足ではありますが、ご期待に添うべく努力致しますので、皆さんのご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金はこのように使われます。

県全体の福祉に

子どもの遊び場、福祉を高めるために

育成研修、福祉大会など

歳末見舞金に

地域福祉、ボランティア活動促進に

ひとりぐらしや、お年寄りの方々へ

県全域で使われる金額 153,000円
山古志村で使われる金額 1,180,000円

目標額 1,333,000円以内